

桂 中 学 校 ブ ロ ッ ク の 小 中 一 貫 教 育

小中一貫教育構想図

令和7年度

〔目指す子ども像〕 思いやりの心を持ち、人や自然を大切に出来る児童・生徒
将来の目標に向かって、自ら学び努力し続ける児童・生徒
どんなことにもくじけず、粘り強く挑戦する児童・生徒
大きな声で挨拶や返事が出来る児童・生徒
自分の思いや考えをしっかりと伝えることが出来る児童・生徒
周囲の人や自ら体験したことから、何かを学ぼうとする児童・生徒

3rd
stage
中 3

中 2

2nd
stage
中 1

小 6

小 5

1st
stage
小 4

小 3

小 2

小 1

自ら学ぶ力

基礎学力の定着・学習規律の確立

- ・高い言語能力を備えた生徒の育成
- ・授業における「めあての提示」と「ふりかえりの時間確保」を確実に実践
- ・授業でのコミュニケーション活動、プレゼンテーション活動の積極的な実施による学びの深化
- ・少人数授業、T T 授業、課外学習（長期休業期間・ふりスタ）、放課後学習（未来スタディ）、テスト前学習会

- ・グループや少人数での話し合いを通じた学び

- ・授業における学習の場としての図書館の活用と充実
- ・情報センターとしての図書館の活用と充実

- ・課題選択や個性を活かす学びの獲得を目指した自主学习

- ・目的やねらいに応じた場づくり、話し合い活動の機会の増加

- ・読書活動の充実（朝読書も含めて）

- ・学びの定着を基盤とした家庭学習・自学自習の学習習慣の定着

- ・話し方、聞き方の基本の理解と定着をめざした取組
- ・ノートづくり

- ・読み聞かせなどを通じた読書習慣の確立

- ・家庭学習の定着を目指した家庭への働きかけや放課後学び教室

思いやりの心・規範意識

道徳的実践力・判断力の定着

- ・生徒会活動を充実させ、生徒集団としての高まりを目指す。
- ・道徳的判断力、道徳的実践力の習得に向けて「考える道徳・話し合う道徳」を積極的に活用した道徳授業の実践
- ・個々の社会性を高めていくためのキャリア教育活動の実践
- ・児童会と生徒会の交流活動

- ・リーダーとしての自覚の獲得と望ましい人間関係の構築

- ・道徳授業を通して思いやりの心、自立心や責任感を育成

- ・児童会活動や縦割り活動、部活動において高学年から学び、低学年に伝える

- ・道徳授業を通して実践力を育成

- ・学習や遊びを通してルールやマナーを知る
- ・縦割り活動から行動の仕方を学ぶ

- ・道徳授業を通して判断力を育成

学校（中学校・小学校）

桂中：『言語能力の育成・言語活動の充実』～人とことばを大切に～
『「温かな心」「たくましさ」を兼ね備えた生徒の育成』

桂小：『心豊かに 主体的に行動できる子』

桂徳小：「やりたいことを見つけ、夢中になって取り組む子」
～みんなが行きたい桂徳小～

桂川小：『自ら課題を見つけ、人とかかわりながら
豊かな心とことばで 達成する子』の育成

軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力①：自ら学ぶ力								
・基礎学力の定着をめざして粘り強く学ぼうとする力								
・学習規律の定着を基盤として深い学びに対して積極的に向かう力								
学年又は学年区分ごとにめざす姿								
・興味関心をもって学習に取り組む ・学習におけるルールを守ろうとする姿勢が身につく		・グループ内で意見交流しながら学習をすすめていける ・学習規律を守ろうとする態度が定着している		・協働的な活動を通してコミュニケーション力を発揮しながら学習を深めていける ・学習規律の定着を元に積極的な姿勢で学習できる		・自己の夢の実現（進路展望）に向かって粘り強く学んでいく		
小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
取組・活動								
学習課題の実施と定着（平日及び週末の家庭学習課題）								
＜桂小学校の取組＞ ・伝え合う力を育成させるために「相手に分かるように話す力」「大事なことを落とさないで聞く力」の育成を図る。 ・学習計画表を用いて、反復練習で基礎基本の徹底		・相手意識をもち、「話し合いたい」「伝えたい」「意見を聞きたい」と児童が思う場面を意図的に作り出す。 ・学習計画表を用いて、学習内容の定着、計画と振り返り。（自主学習の取組）		・目的を明確にし、自らの学習を調整しながら活動の設定を行う。 ・学習計画表を用いて、自ら課題を設定し、学習を進める。成果や課題をふりかえり、次時へつなげる。（自学自習の習慣化）		＜桂中学校の取組＞ ・学習規律の徹底を図り、学習に対する積極的な態度の育成（１年） ・英語・数学におけるT・T授業（１年） ・言語活動の充実を図り、対話的・主体的・深い学びを意識したコミュニケーション活動を取り入れた授業の展開（全学年） ・テスト前学習会の実施 ・長期休業における補充学習会、自主学習会の実施（全学年） ・未来スタディを活用（全学年）		
＜桂徳小学校の取組＞ ・簡単な話型を使って発表させる。 ・ある程度の枠組みを決め振り返りやすいノート作りを目指す。 ・具体的な活動を取り入れ、興味関心をもたせた学習をすすめている ・「家庭学習」反復練習で基礎基本の徹底		・目的やねらいに応じた場づくりや相手意識を持った話し合いの設定。 ・「話す・聞く」姿勢などの指導を継続しながら、相手意識をもたせた話し合いを行っていく ・「家庭学習」家庭での学習習慣と学習内容の定着・家庭学習の計画と振り返り		・単元内容や学年の実態により学習形態をかえ、課題に迫る活動を通してグループや少人数で話し合いながら学習を進められるようにする ・「家庭学習」自ら課題を選び計画して、自己評価する自学自習の習慣化へ				
＜桂川小学校の取組＞ ・学習規律を徹底する。 ・話型を通して「話す・聞く」力が定着する。 ・目当ての大切さに気付き進んで取り組む。 ・わかる喜びを知る。 ・おもいや考えをもつ。 ・自主学習の取組を通して目的をもって学ぶ大切さに気付く。 ・個別最適な学びを創造する。		・「話す・聞く」力が定着する。 ・目的意識をもち、見通しをもち学びに向かう。 ・わかる喜びを知り、学ぶ意欲を高める。 ・自分のおもいを伝える。 ・自主学習の取組を通して学びの作り方を理解する。 ・個別最適な学びを創造する。		・「話す・聞く」力が定着し、協働的に学ぶ。 ・目的意識をもち、見通しをもち、解決する。 ・わかる喜びを知り、自ら学ぶ。 ・自分のおもいを適切なことばで伝える。 ・自己の学びを振り返り、目的をもって自己の学びを調整する大切さに気付く。 ・個別最適な学びを創造する。				
＜中学校ブロックとしての取組＞ ・家庭学習課題の適切かつ着実な実施								

義務教育卒業時につけたい力②：規範意識・思いやりの心								
・ 互いを認め合い、やさしい気持ちで接することができる力								
・ 正しい判断のもとに主体的に行動できる力								
学年又は学年区分ごとに目指す姿								
・ 友だちと仲よくし、助け合える ・ ルールやマナーを知り、正しい判断が必要なことを理解できる		・ 思いやりの気持ちで仲間と接し、相手のことを理解できる ・ 集団や社会のルールが守れる		・ 集団の一員としての自覚を高め、自己の役割や責任が果たせる		・ 社会の一員としての自覚を高め、自己の夢の実現に向けた態度と実践力が身についている		
小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
取組・活動								
道徳授業の積極的な実践と交流・研究								
＜桂小学校の取組＞						＜桂中学校の取組＞		
・ 生活や学習の中でできまりや学習規律の理解を図る ・ 道徳教育、「ともだちの日」など人権学習の充実により、命を大切に作る心や他人を思いやる心の育成を図る。 ・ 異学年での関わり方を学ぶ。		・ 学級活動や部活動等でルールを守り仲間と協力する態度を養う。 ・ 道徳教育、「ともだちの日」など人権学習の充実により、自己肯定感、自己有用感の育成を図る。（生徒指導の実践上の４つの視点） ・ 異学年で互いのよさやがんばりを認め合う		・ 自分を大切にし、主体的に学びの機会に参加し、意欲的に交流する。 ・ 道徳教育、「ともだちの日」など人権学習の充実を図り、自他ともに大切にし、仲間とともに協力する。（生徒指導の実践上の４つの視点） ・ 児童会活動において自己の役割を自覚し、互いを認め合い、励まし合う集団づくりを行う。		・ 「考える道徳・話し合う道徳」を積極的に活用した道徳授業の実践 ・ 育成学級生徒について正しい知識と認識が持てることを目指した学習の実践 ・ 個々の社会性を高め、社会の一員であることの自覚を高めていくためのキャリア教育活動の実践 ・ 小中一貫を意識した交流活動の継続的な実践 ・ 総合的な学習の時間について、「仲間づくり」、「探求活動」、「生き方・進路」を軸にして取り組みを進める。		

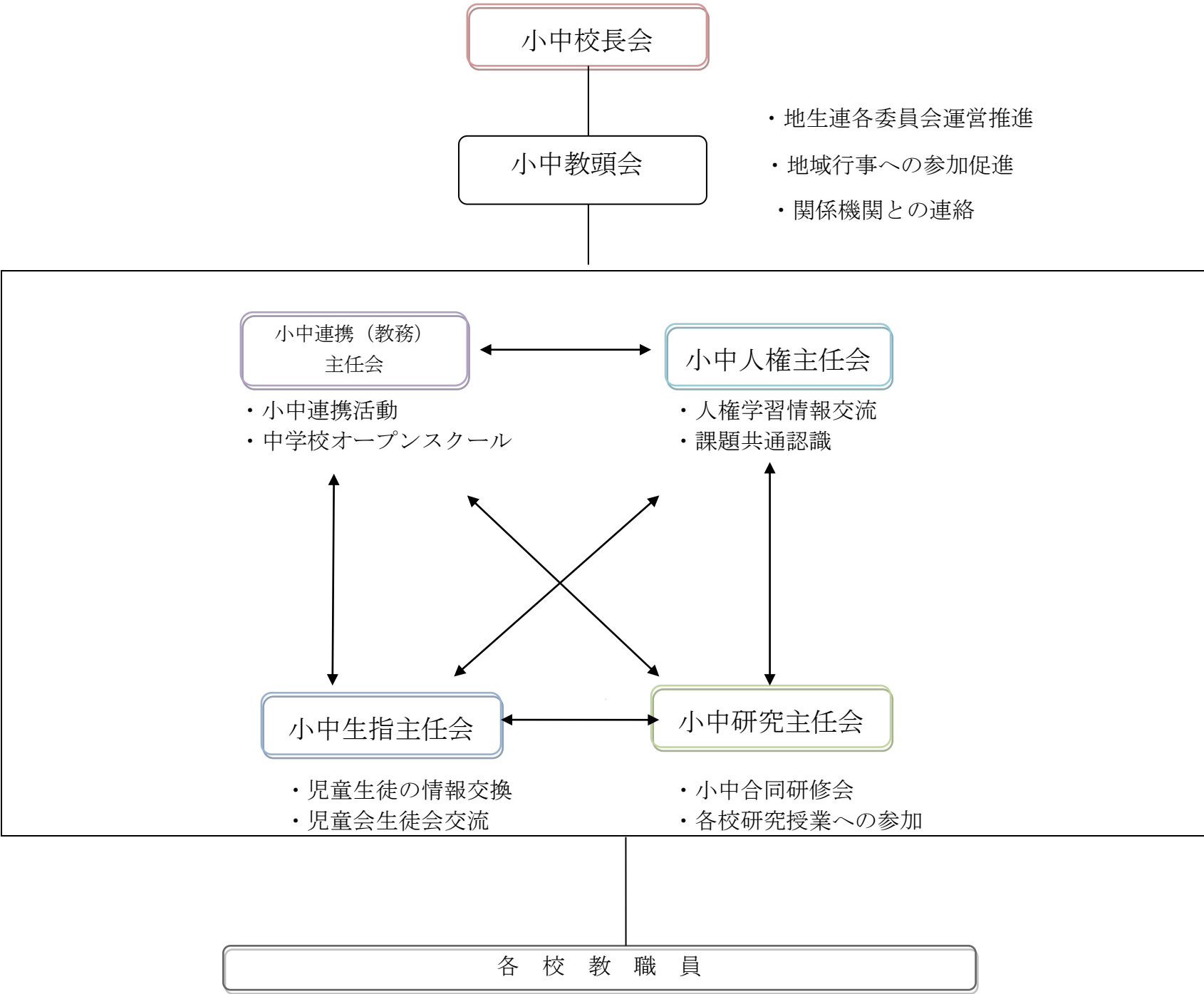
<桂徳小学校の取組> ・学習や遊びを通して、ルールやマナーを知り、友だちと仲良く活動できる場を設定する。 ・生徒指導の実践上の４つの視点を意識したチーム学校を構築する。（あいさつを返す。→自己存在感の感受） ・学校のきまりの理由について理解し、守る。（自己決定の場の提供と安全・安心な風土の醸成）	・学級活動・児童会活動やクラブ活動等の活動を通して集団生活の約束を理解し、思いやりをもって友だちと活動できるよう働きかける。 ・体験学習の振り返りを行う。 ・生徒指導の実践上の４つの視点を意識したチーム学校を構築する。（あいさつを自分から。→自己存在感の感受） ・学校のきまりの理由について理解し、行動する。きまりにのっていないきまりについて考える。例えば、あいさつや廊下の使い方等。（自己決定の場の提供と安全・安心な風土の醸成）	・児童会活動やクラブ活動等学校のリーダーとして自覚が持てるように働きかけると共に、自己の力にあった役割や責任をもたせる。 ・体験学習の振り返りを行う。 ・生徒指導の実践上の４つの視点を意識したチーム学校を構築する。（あいさつ「名前＋あいさつ」。→自己存在感の感受） ・学校のきまりの理由について理解し、行動し、他学年へ広めていく。きまりにのっていないきまりについて考える。例えば、あいさつや廊下の使い方等。（自己決定の場の提供と安全・安心な風土の醸成）	
<桂川小学校の取組> ・学校生活のあらゆる場面や機会を通して、生徒指導実践上の４つの視点を意識した「自己指導能力」の基礎を養う。 ・あいさつの大切さに気付く。 ・ルールとマナーについて考え、その大切さに気づく。 ・誰とでも仲良くする心情を育てる。 ・係活動や当番活動を通して、助け合いの心、感謝の心を育てる	・学校生活のあらゆる場面や機会を通して、生徒指導実践上の４つの視点を意識した「自己指導能力」の育成を目指す。 ・あいさつの大切さを理解する。 ・ルールとマナーについて考え、その大切さを理解する。 ・相手のことを思いやる心情を育てる。 ・体験活動を通してお年寄りや障がいのある人々への理解を深める	・学校生活のあらゆる場面や機会を通して、生徒指導実践上の４つの視点を意識した「自己指導能力」の育成を目指し、行動につなげる。 ・あいさつの大切さを理解して行動する。 ・ルールとマナーについて考え、その大切さを理解して行動する。 ・リーダーとしての自覚や責任感を育てる ・体験活動を通して、自己の役割を自覚し、望ましい人間関係を築く	
<中学校ブロックとしての取組> ・道徳授業の積極的な実践…相互の授業参観、資料の活用方法の協議、道徳授業の評価活動の研究 ・小中学校合同活動…オープンスクール ・自学自習の習慣化への指導・支援【学習内容時間の計画と自己評価】：各小３年生以上～中学校の定期テスト準備→高校入試→生涯学習			

学びの約束・ルール

項 目	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
あいさつ	・元気よくあいさつができる子		・自らあいさつができる子		・相手を尊重し、場に応じたあいさつができる子				
言葉づかい	・しっかり大きな声で、ていねいに話す		・きつい、きたない言葉を使わない		・時や場所に応じた言葉を使い分ける		・相手の状況や気持ちを感じながら適切な言葉づかいができる		
コミュニケーション	・楽しく表現することを通して「話す」力を育てる		・豊かな話し合い活動を通して「聞く」力を育てる		・表現を学びや思考につなげ深めるため「書く」活動の充実		・話し合いの目的や方向性を理解しながら、理由付けも含め、自らの意見が言える		

小中一貫教育推進体制

桂中ブロック 4 校：桂中・桂小・桂徳小・桂川小



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や、学校評価アンケート項目の統一など、家庭・地域との連携・協力に向けた取組について、記載してください。

- ・ 地生連および少年補導行事への参加の促進…ふれあいステージ（地生連） など
- ・ 小学校だより、学年通信、地生連だよりの発行を通した情報発信及び学校HPへの掲載。